

普通科目（国語総合）の学習指導案 18 No.1

または 現代文

1. 指導目標

- (1) 文学（詩歌）の形式、及びその発展と歴史について学ぶ。
- (2) 文学（詩歌）の形式の創造について考えさせる。
- (3) 新しい文学（詩歌）の形式を創造する意欲を高めさせる。

2. 指導項目・内容

	指導項目・内容	時間（分）	指導上の留意点
導 入	・ 本時の目標を説明する。	5	・ 詩歌の楽しさを伝える。
展 開	・ 詩歌の形式について説明する。 (1) 上代・中古・中世の詩歌 歌謡、和歌、漢詩文 (2) 近世の詩歌 歌謡、和歌、漢詩文、俳諧、 俳文、俳論、川柳、狂歌 (3) 近・現代の詩歌 近代詩、近代短歌、俳句など ・ 詩歌の形式の変化について説明する。 (1) 遊びの中から発生し、発達 (2) 貴族社会から庶民へ (3) 日々の生活の中で発展 ・ 詩歌や文学の形式の創造について考えさせる。	40	・ 詩歌にはいろいろな形式があることを理解させる。 ・ 俳句などは日本人が独自に発明し、発展させた文学の形式であることを理解させる。 ・ 短い文であるが、無限の表現力があることに気づかせる。またそのすばらしさを理解させる。 ・ ものごとをじっくりと観察することの大切さを教える。 ・ 日本は島国であり、日本人は農耕民族であることが文学に影響したことについて考えさせる。 ・ 未来の詩歌や文学の形式を想像させる。
整 理	・ 日本人のもつ創造性の豊かさについて説明する。 ・ 本時のまとめをする。	5	・ 新たな詩歌や文学の創造の意欲を高めさせる。 ・ 知的財産について触れる。
備 考	「新編 国語総合」（大修館書店・国総011）P243～P251「和歌と俳諧の調べ」		